

# 「罪の赦し」

2026.7.1

聖書に学ぶ4 II

サムエル記 11:1~12:31

新聖歌 451・235

信仰的にも、軍人としても、王としても申し分のないダビデでした。ところがここに来て、なぜ!?あのダビデが… と思えるような、愚かでハレンチな出来事が起きました。

このIIサムエル記に 11 章が無かったら、素晴らしい偉人伝で終わっていたでしょう。しかし聖書はここに、どうしようもない人間の罪の現実と、その罪を死ぬほど泣いて悔い改める王ダビデ、それを赦される主なる神という、驚くべき姿を記しているのです。

## 今日の学びの要点

主なる神はダビデのやったこと全てを知っておられました、それを止めることはされません。人間の本性を知っておられる主は、預言者ナタンのお話を通して気づかせ、罪を認め、悔い改めたとき、直ぐにその罪を赦される方です。

## I、罪を犯したダビデ (IIサムエル記 11:1~18)

1、主に祝福されたダビデが問題を起こしてしまうキッカケは何だったのでしょうか。(IIサムエル記 11:1)

①ダビデは王宮で、何時頃起き出してきましたか。

②誘惑に負け、ダビデは悪いとも思わず、あっさり罪を犯してしまいました。

創世記のヨセフとの違いは何だったのでしょうか。(創世記 39:9)

- ・ 奴隷で、主なる神だけが頼りのヨセフ。(誘惑されたとき、上着をつがまれても逃げた)
- ・ 王という権威の下、全てが思い通りになり、誰にも反対させないダビデ。

※バテ・シェバ…エリアムの娘。エリアムはイスラエルの勇士30人の中の1人。祖父はダビデの助言者でもあった。(IIサムエル記 23:34、15:12) 夫ウリヤも勇士30人の中の1人だが、ヒッタイト人だった。  
(今のトルコ)

2、ヤコブ 1 : 15 を読みましょう。罪が熟した結果、ダビデは何をしたのでしょうか。(IIサムエル記 11:6~18)

①罪を隠そうとする——バテ・シェバの夫ウリヤが罪に気づかないように計らった。

(6~12)

②隠せないとき、殺人——ウリヤを戦いの最前線で討ち死にさせた。(13~18)

## Ⅱ、罪を悔い改めたダビデ (Ⅱサムエル記 12:1~12)

- 1、預言者ナタンはダビデに1つの話をしました。この話をしないで、始めからダビデを糾弾していたら、どうだったでしょうか。  
(Ⅱサムエル記 12:1~6)
  
- 2、ナタンはダビデの何が、主を怒らせたと言ったでしょうか。  
(Ⅱサムエル記 12:9~14)
  
- 3、ダビデは罪を認めました。詩篇 51：1~19はこの時のダビデの思いを吐露した詩です。
  - ①悔い改めの言葉… V4:「あなたにむかい、ただあなたに罪を犯し、あなたの前に・・・」  
→人ではなく、どなたに向かい罪を犯したと告白していますか。
  - ②内面の罪について… V7:「わたしを清めてください・・・洗ってください」  
V10:「清い心をつくり、・・・新しい、正しい霊を与えて・・・」
  - ③主に対する信仰… v17:「神の受け入れられるいけにえは 砕けた魂です・・・」

## Ⅲ、罪を赦された主なる神 (Ⅱサムエル記 12:13~31)

- 1、ローマ 6：23 を読みましょう。ダビデは主の前に罪を認めました。その時、ナタンはダビデに何と言いましたか。
  - ①ダビデ自身はどうなりましたか …
  - ②誰が死ぬことになると言いましたか …
  
- 2、ダビデの罪が明らかにされ、それが赦された後、イスラエルは敵との戦いに勝利しました。これは何を表しているのでしょうか。